

解剖学第一（形態構造医学）講座

【教育】	
1. 到達目標	体構造に関する用語について、日本解剖学用語、国際解剖学用語、医学用語との関係を正しく理解し説明できるようにする。
2. 現状説明	講義、骨学実習、解剖実習等により、到達目標の達成を目指している。 また、解剖実習では液晶モニターによる標本や解剖手順等の提示を行っている。
3. 点検・評価	教室員全員が最大限努力して対応している。
4. 目標・改善方策の達成度	例年、勉学意欲が喪失あるいは著しく低下した学生の数名が不合格となっているが、大半は翌年の再履修で合格となっている。
【研究】	
1. 到達目標	哺乳動物の内分泌機構についての研究を進める。
2. 現状説明	ラットや培養細胞等を用いて、光学・蛍光・レーザー・電子顕微鏡、Western blotting、RT-PCR、ELISA等で消化管におけるステロイドホルモン産生等について調べている。
3. 点検・評価	常に最新、最善の方法を模索しながら、研究を進めている。
4. 目標・改善方策の達成度	上記研究に関わる課題で科学研究費を獲得している。
【社会貢献】	
1. 到達目標	解剖実習室を本学以外の学生教育、医療従事者の卒後教育等に提供し、可能な限り対応する。
2. 現状説明	例年、①学外の理学・作業療法学科、看護学科等の学生の解剖・見学実習、②看護師等の見学実習、③臨床医の内視鏡および手術トレーニング等を受け入れている。
3. 点検・評価	毎年多くの学生、看護師や臨床医が参加している。
4. 目標・改善方策の達成度	③のためのご遺体を安定的に供給できるよう調整する。

解剖学第一（形態構造医学）講座

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2021)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文 (1)原著	査読有	Nys C, Lee YL, Roose H, Mertens F, De Pauw E, Kobayashi H, Scirot R, Bex M, Versyck G, De Vleeschouwer S, Van Loon J, Laporte E, Vankelecom H	Exploring stem cell biology in pituitary tumors and derived organoids	Endocr Relat Cancer. 2022 Jun; 29(7) : 427-450. PMID : 35521774	IF=5.905, Q1		D E
1. 論文 (1)原著	査読有	Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Shindo M, Naito A	Monosynaptic facilitation of motoneurons innervating intrinsic hand muscles mediated by group Ia afferents from the extensor carpi radialis in humans	Physiol Rep. 2022 Aug; 10(16) : e15431. PMID : 36017963		E Only	B
1. 論文 (1)原著	査読有	Nito M, Yoshimoto T, Hashizume W, Sato T, Shimada K, Shindo M, Naito A	Monosynaptic facilitation of flexor digitorum superficialis motoneurons mediated by group Ia afferents from the extensor carpi radialis in humans	Eur J Neurosci. 2022 Sep; 56(6) : 4901-4913. PMID : 35902884	IF=3.698, Q3		B
1. 論文 (1)原著	査読有	Yoshimoto T, Nito M, Hashizume W, Miyasaka T, Shindo M, Naito A	Monosynaptic facilitation mediated by group Ia afferents from deltoid to biceps brachii motoneurons in humans	Exp Brain Res. 2022 Apr; 240(4) : 1057-1067. PMID : 35201382	IF=2.064, Q4		B
2. 学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読無	小林裕人、白澤信行、内藤輝	胃のAromatase発現の制御因子とシグナル経路	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台; 2023年3月			B
2. 学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読無	Yoshimoto T, Nito M, Shimada K, Sato T, Hashizume W, Naito A	Oligosynaptic inhibition of group Ia afferents between the anterior and posterior parts of the deltoid in humans	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台; 2023年3月			B
2. 学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読無	Sato T, Nito M, Shimada K, Yoshimoto T, Hashizume W, Naito A	Spinal reflex arc from biceps brachii to the middle and posterior parts of deltoid in humans; a post-stimulus time-histogram study	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台; 2023年3月			B
2. 学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読無	Shimada K, Nito M, Sato T, Yoshimoto T, Hashizume W, Naito A	Facilitation from the biceps brachii to the middle part of the deltoid in humans: an electromyogram-averaging study	第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台; 2023年3月			B
2. 学会報告 (3)国内地方会 iii 一般演題	査読無	小林裕人、白澤信行、内藤輝	ラット授乳期における胃のAromatase発現制御因子の探索	日本解剖学会第 68 回東北・北海道連合支部学術集会. 札幌; 2022年9月			B
2. 学会報告 (3)国内地方会 iii 一般演題	査読無	Yoshimoto T, Nito M, Hashizume W, Shimada K, Sato T, Naito A	Inhibitory spinal reflex arc from the anterior to the posterior part of the deltoid in humans	日本解剖学会第 68 回東北・北海道連合支部学術集会. 札幌; 2022年9月			B
2. 学会報告 (4)研究会 i 特別講演・招待講演・会長講演	査読無	内藤輝	解剖学教室で41年：研究の変遷	第39回山形形態機能研究会, 山形; 2022年12月			
2. 学会報告 (4)研究会 iii 一般演題	査読無	島田和人、佐藤友美、仁藤充洋、吉元拓也、橋爪和足、内藤輝	ヒト上腕二頭筋から三角筋中部・後部への脊髄反射の解析	第39回山形形態機能研究会, 山形; 2022年12月			B